

を伺ったりしながら、さらに特別発言の先生からの也十分に時間がとれるものかと計算したのですが、残すところ少なくなっていました。大変恐縮なのですが、普通のシンポジウムのスタイルをとらないで、ここで特別発言をお願い申しあげている先生にそれぞれお話をし

ていただいて、私のコメントは最後には付けません。そのようなところでお許ししていただきたいと思います。後藤先生大変短い時間ですみませんが、よろしく願いいたします。

<特別発言>

済生会新潟第二病院長 後藤 司郎

司会 ありがとうございます。病院経営に関する哲学さらに病院が達成すべきチャレンジ、これについて具体的にお話になりまして、本日のシンポジウムのまとめ第一段としましては、誠に立派なお話をしていただいた

と感謝しております。それでは最後に県病院局長の石井先生から特別発言をお願いします。立場上ご発言しにくい部分もあるかと思いますが、あえてそれを承知しました上でよろしく願いいたします。

<特別発言>

県立病院の立場から

新潟県病院局長 石井 斌

From the Standpoint of Niigata Prefectural Hospitals

Sakan ISHII

Chief Officer of Niigata Prefectural Hospitals

1. 適正な診療報酬を

昨日全国自治体病院協議会の理事会がありました。7割以上の自治体病院が赤字決算で、年をおって一層の経営悪化を示しています。

県立15病院を実施に見て廻りまして、これだけ沢山の患者さんが病院にきており、こんなに一生懸命に職員は働き忙しい思いをしているのに、赤字が続くのは遺憾で

す。

経営改善に更に努力するにせよ、診療報酬の大幅アップ、まじめにやれば何とかやれるていどのアップを強く望んでいます。

2. 公私病院の格差

先程から県立病院は一般会計からの繰入金、税金面での優遇があるとの指摘があります。ご承知の通り、県立

病院は僻地にある小規模病院が多く、救急医療・透析・リハビリ・在宅医療・看護学校など不採算部門を抱え、それらに対する補助・繰入れも、不採算をカバーするに至っておりません。繰入れなどについては、地方公営企業法に基づく基準を厳格に適用しております。

3. 経営改善の実態

赤字をやむを得ずとしているわけではなく、経営改善に務めており、医師をはじめ職員にはかなり厳しい対応を求めています。薬剤費、診療材料費の徹底した予算統制、各病院の四半期毎の経営目標の設定、診療報酬の流れに沿ったマンパワー・設備の投入などをおこなっています。

平成5年度は診療収益は伸び悩み、給与費・材料費のアップにより損益は悪化し、収益638億、費用660億で、22億円の赤字決算となりました。平成6年度9月末での前年比で入院患者3.6%増、外来患者4.3%増であり、収入7.0%増に対し費用は4.2%増にとどまり純損益は2.8%の改善をみております。（追記：平成6年度決算では赤字は前年平成5年度22億から6年度3.1億に縮小した）

4. 県立病院の使命と他医療機関との連携

最近民間医療機関で透析業務の縮小のため、県立病院での肩代わりを打診された例がありました。透析については公立病院は民間の補完的整備を行ってきたところがあります。診療報酬改定で収益性が低下してくる場合や、過疎化にともなう患者確保難、医師をはじめ医療スタッフ不足、など民間の医療機関での医療縮小が今後もない

とはいえません。公的病院での肩代わりか、行政による支援により民間での継続が望ましいのか、新規需要対応とは異なった方向が必要かと考えられます。

司会 ありがとうございました。最後に今日お話しになった先生方はどなたも医療経営は苦境に陥っているということは一致しております。ではどのようにすればいいかといろいろと意見がありましたが、日本の医療の荒廃を招かないように、現場で活動している人間が実行に移さなくては行けないと、そのような意味あいでは、今、政治の問題などについての石井先生のお話がありましたが、ただその辺で雑談的に話すのではなくて、どこかでまとまった意見として出していけないと大変なことになるであろうと思っております。なお日本の収容施設は諸外国と同じだそうです。収容施設は病院に偏りがあるわけですが、今後今のお話にもありましたように高齢化対策という中で、病院が福祉との関連をどのように果たしていくか、この辺も考えてみなくては行けないのではないかと考えています。何はともあれ30分という時間を超過してしましまして、各演者のご議論、あるいはここにお出でなさっている先生方のご意見などもお聞きできなかったことをお詫び申し上げます。この会を閉じさせていただきますが、冒頭に申しましたように新潟医学会でもこのような問題がテーマになるといふかなり危機的な状況であろうと思っております。最後にこの企画をしていただいた新潟医学会に厚く御礼を申し上げてこの会を閉じさせていただきたいと思っております。どうもありがとうございました。